

## 平成 21 年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の (1) から (5) に掲げる平成 21 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

### 記

#### 1 号事業報告：

##### (1) 全国大会の開催

平成 21 年 9 月 4 日から 6 日まで北海学園大学（北海道）において、「国際交流「新」時代における大学英語教育カリキュラム刷新」をテーマに第 48 回全国大会を開催した。参加者 716 人。基調講演 3 件、特別講演 1 件、海外提携学会代表等による招待講演 6 件、シンポジウム 16 件、ポスターセッション 7 件、ワークショップ 1 件、賛助会員発表 9 件、研究発表 34 件、実践報告 24 件、事例研究 10 件等、盛会な大会であった。特に今大会では「大学英語カリキュラムの刷新」を広く社会へ発信するための市民交流イベントが行われた（事例研究 4 件、ポスターセッション 52 件、参加者は一般参加者を併せて 260 名）。

会員には、11 月に刊行した『JACET 通信大会特集号』にて全体報告と、基調講演、全体シンポジウム等に関する報告を行い、全国大会で披露された研究成果や知見を広く知らせ、研究者の研究活動推進に資するものとした。

##### (2) サマーセミナーの開催

平成 21 年 8 月 18 日から 21 日に、国立大学法人等共同利用施設草津セミナーハウスにおいて、「英文法この 100 年：English Grammar 1900-2000: How the language has changed in a hundred years」と「英語の丁寧表現：Politeness in English」をテーマとして第 37 回サマーセミナーを開催した。参加者 48 人。英国ランカスター大学からジェフリー・リーチ教授を招聘し、応用言語学の最新の研究について学び、また参加者による発表も行なわれ有意義な研鑽の場となった。講演と発表内容についての成果は『プロシーディングス No.9』として刊行した。

##### (3) 春季セミナーの開催

平成 22 年 3 月 22 日に、早稲田大学早稲田キャンパスにおいて、「学習者と教師の自律—自律的学習支援と教員研修—」をテーマとして、英語教育の実践研究セミナーを開催した。参加者 89 人。講演 4 件。パネルディスカッション 1 件。

#### 2 号事業報告：

##### (1) 『紀要』の刊行

①平成 21 年 10 月 20 日に『JACET Journal』49 号を刊行。掲載論文 5 件。

②平成 22 年 3 月 30 日に『JACET Journal』50 号を刊行。掲載論文 5 件。海外著名研究者からの特別寄稿記事 3 件。

会員及び英語教育関係者等へ送付した。海外提携学会等へも送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『JACET 通信』の刊行

①平成 21 年 7 月 1 日に『JACET 通信』169 号（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。

②平成 21 年 10 月 1 日に『JACET 通信』170 号（英語、Web 版）を刊行。

③平成 21 年 11 月 1 日に『JACET 通信』171 号（大会特集号）（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。

④平成 21 年 12 月 1 日に『JACET 通信』172 号（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。

⑤平成 22 年 3 月 1 日に『JACET 通信』173 号（英語、Web 版）を刊行。

以上、合計 5 回の通信の刊行を行い、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。

(3) 「大学英語教育学大系」全 13 巻（予定）の刊行および準備

平成 22 年 2 月 1 日に第 1 巻『大学英語教育学 その方向性と諸分野』刊行。大学英語教育学の研究の現状や問題点について広く考察し、将来の研究の方向性を展望し、併せて、全 13 巻の概要を示した。

平成 22 年 3 月 15 日に第 10 巻『リーディングとライティングの理論と実践』刊行。リーディングとライティングの近年の理論的研究をまとめ、その研究成果をリーディングとライティングの教育に応用した。

両巻を大学英語教育に関する団体等へ献本した。さらに、平成 22 年度に 7 巻、23 年度に 4 巻刊行予定。50 周年記念刊行事業準備委員会が 4 回開催され、各巻の内容構成の検討及び執筆者の選定等が行なわれた。

3 号事業報告：

(1) 大学英語教育学会賞の表彰（学術賞・新人賞・実践賞）

平成 21 年 9 月 4 日の全国大会時に、大学英語教育学会賞の学術賞が、大谷泰照氏 著書『日本人にとって英語とは何か—異文化理解のあり方を問う—』（大修館、2007）に、実践賞が、中野美知子氏の「早稲田大学における革新的英語教育プログラム、及び外国諸大学連携による IT 英語教育諸活動の開発、導入、実践」にそれぞれ授与された。

(2) 関係学術団体への派遣

①RELC (Regional Language Centre)

平成 21 年 4 月 20 日から 22 日にシンガポールで開催された第 44 回 RELC 国際セミナーに本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果と報告は学会ホームページに掲載。

②KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 21 年 7 月 3 日から 4 日に韓国ソウル市で開催された KATE 2009 International

Conference に本学会より学会代表者を 1 名派遣して、研究発表を行ない、学術交流及び情報交換を行なった。その成果と報告は学会ホームページに掲載。

③ IATEFL (International Association of Teachers of English as a Foreign Language)

平成 21 年 3 月 31 日から 4 月 4 日に英国カーディフで開催された 43rd Annual International IATEFL Conference and Exhibition に本学会より学会代表者を 1 名派遣して学術交流および情報交換を行なった。その成果と報告は学会ホームページに掲載。

④ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 21 年 12 月 5 日に韓国ソウルにおいて開催された ALAK 2009 International Conference において本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果と報告は学会ホームページに掲載。

⑤ ETA-ROC

平成 21 年 11 月 13 日から 15 日に台湾の台北市(Chien Tan Overseas Youth Activity Center)で開催された The 18th International Symposium and Book Fair on English Teaching に本学会代表者 1 名を派遣して、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果と報告は学会ホームページに掲載。

⑥ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

平成 21 年 6 月 11 日から 13 日にマレーシアで開催された第 18 回 MELTA 国際大会に本学会の代表者 1 名を派遣し、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果と報告は学会ホームページに掲載。

⑦ AILA (国際応用言語学会)

平成 21 年 6 月 17 日にアイルランドのリムリック大学で開催されたビジネスミーティングに本学会より代表者 1 名を派遣した (JACET の代表者として会議出席)。報告書は理事会に提出。

⑧ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

平成 21 年 10 月 10 日に韓国釜山国立大学校で開催された PKETA 大会に本学会代表者 2 名を派遣し、研究発表を行い、教育・学術交流を深めた。成果と報告はニューズレターに掲載。

4 号事業報告：

(1) 全国レベルの調査研究

① 大学英語教育に関する実態調査

従来の「学部」という範疇ばかりでなく、英語を実際に使用して国際社会で通用する人材育成のために高等教育機関がどのように取り組んでいるかを調査報告することを目的とした実態調査を行うために、勉強会および 4 回の会議で、調査方法、項目等の検討、調査システムの整備を行い、次年度の本調査に備えた。

(2) 専門分野別の研究会活動

本学会には現在 43 研究会があり、各研究会はそれぞれの分野の調査研究を基盤として、会員

の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を行なっている。そして、研究会担当委員会はそれらの各研究会の活動を支援している。その結果、本活動が会員・非会員相互の専門知識と技術の向上及び大学英語教育の発展にも寄与している。

#### 5号事業報告：

##### (1) 諸会議の開催

- ①平成 21 年 6 月 21 日 平成 21 年度第 1 回定例理事会の開催
- ②平成 21 年 6 月 21 日 平成 21 年度第 1 回定例社員総会の開催
- ③平成 21 年 9 月 3 日 臨時理事会
- ④平成 22 年 3 月 21 日 平成 21 年度第 2 回定例理事会の開催
- ⑤平成 22 年 3 月 21 日 平成 21 年度第 2 回定例社員総会を開催
- ⑥定例運営会議の開催。毎月 1 回開催。年間合計 12 回開催。
- ⑦その他の臨時会議多数。

##### (2) 各選挙の実施

『定款』の定めにより、平成 22 年度からの新体制準備のための会長選挙、支部長選挙、社員の選出を行った。

年度当初から社団法人の申請計画に沿って実施されたため、大きなズレを生じることなくほぼ年度計画通りに実施することが出来た。

以上をもってご報告と致します。